

東京農工大学 大学院農学研究院
自然環境保全学部門 助教（テニュアトラック） 募集要項

1. 公募の概要

東京農工大学大学院農学研究院・農学部では、本研究院・農学部のテニュアトラック制度に基づき、任期5年の助教（テニュアトラック）を公募いたします。

本制度は、若手研究者を任期付きで雇用し、将来に亘って活躍できる農学研究院・農学部の優れた教育職員として育成するものです。任期中に研究と教育を推進する経験を重ねた後に、教育職員としての適性について公正・厳格な審査を行い、本学准教授（講師を含む）のテニュア（任期の定めのない常時勤務を要する教育職員としての身分）を取得させることを目的としています。採用された若手研究者は、原則として独立した研究室の使用が認められ、研究の立ち上げのスタートアップ資金やメンターの配置等の援助が受けられます。また、学部授業および会議などの業務が常勤教育職員より一部軽減されます。大学院の担当については別途資格を判定して認定されます。任期3年目と5年目にテニュア付与審査を実施し、テニュアトラック期間内に所定の業績を上げたと評価された場合は、任期の定めのない常勤の教育職員としての身分（テニュア）として本学の准教授または講師に採用する予定です。

なお、テニュア付与審査の方法と基準の概要については、別紙（「農学研究院テニュア付与審査方法・基準の概要」）を参照してください。

2. 募集職名 助教（テニュアトラック）（1名）

3. 所属先 農学研究院 自然環境保全学部門

4. 兼務先 農学府農学専攻自然環境保全学プログラム（大学院修士課程）
農学部地域生態システム学科

5. 専門分野

自然資源の利用と保全、特に森林資源の利用と保全に関する教育研究は、地球温暖化、生物多様性保全、再生可能エネルギー、脱プラスチック社会などの地球規模の諸課題から、国内地域の防災減災、人口減少社会の維持、野生動物管理に至るまで様々な課題解決の鍵となる分野であり、多岐にわたる問題解決のためには森林資源と人間社会との関係を社会科学的手法に基づき解明する森林政策学の教育研究が不可欠です。本部門では、このような森林政策学の教育研究に優れ、森林・林業政策への提言、社会貢献活動や当分野の人材育成、部門における自然科学分野との連携等に意欲をもって取り組んでいただける教員を公募します。

6. 応募資格

- ・博士の学位を有すること、または着任時までの取得の見込みがあること。

- ・熱意をもって大学院生・学部生に対する教育・研究指導を遂行できること。
- ・学内業務や社会貢献を積極的に担い、リーダーシップを発揮できること。
- ・国際的視野（英語活用能力）を有すること。
- ・国籍は問わない。ただし、日本語での授業が可能なこと。

7. 担当予定科目

以下に示す科目など本人の専門性を考慮した科目について分担担当をしていただきます。

学 部：森林政策学（分担）、森林計画学実習（分担）、地域生態システム学Ⅰ～Ⅲ（分担）、
地域生態システム学特別演習Ⅰ～Ⅲ、卒業論文等。

大学院：自然環境資源学概論Ⅰ（分担）、森林環境保全学Ⅱ（分担）、農学特別研究Ⅰ・Ⅱ、
農学特別演習Ⅰ・Ⅱ等。

8. 採用予定日

2022年4月1日以降のなるべく早い時期

9. 勤務条件等

- 1) 給与 年俸制，経歴・職位・職務内容に応じて，本学の規程により決定（賞与および各種手当あり）
- 2) 勤務 裁量労働制（7時間45分／日）
- 3) 勤務地 東京農工大学 府中キャンパス
- 4) 任期 あり（テニユア付与審査の結果により任期なしへ転換）

10. 提出書類

以下の提出書類をPDFファイルとして提出先Eメールアドレスへ電子メールで提出してください（最大ファイル容量10MB）。ファイル容量が超過する場合は、送付前に問い合わせ先に連絡してください。

- ①履歴書（書式自由。ただし写真添付のこと。連絡先として、住所・電話番号に加え、Eメールアドレスを明記のうえ、高校卒業以後の学歴・留学歴・職歴などを記すこと）1部
- ②研究・教育業績リスト
 - ・様式は任意。原著論文（査読の有無を明記）、総説、著書、国内外シンポジウム等発表（招待講演の有無を明記）などに分けて記載。
 - ・所属学会・役員、教育実績、社会貢献活動、受賞、などについても記載。
- ③主要業績5点まで（PDF）
- ④③の各業績についての要旨（400字程度）を記した用紙
- ⑤これまでの研究概要と着任後の研究計画（A4 2枚以内）
- ⑥これまでの教育経験と着任後の教育に関する抱負（A4 1枚以内）
- ⑦応募者に関する所見を伺える方2名についての情報（氏名，所属，連絡先電話番号，

E メールアドレスなど) (書式任意)

11. 応募締め切り

2022年1月5日(水)午後5時

12. 選考方法

書類選考後、面接を経て決定します(オンライン面接の場合もあります)。面接の際に必要な費用等は応募者の負担となりますので、あらかじめご了承ください。また、書類審査および面接選考結果の通知を含めて、選考に関する連絡は原則、電子メールで行います。

13. 問い合わせ先・応募書類の提出先

〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8

東京農工大学大学院農学研究院

自然環境保全学部門助教(テニユアトラック) 選考委員会委員長 宇野裕之

Eメール: unoh<at>go.tuat.ac.jp (<at>を@と置き換えてください)

※メール送信時には、件名に「自然環境保全学部門教員応募について」と記載してください。

※男女共同参画の積極的推進

東京農工大学は、男女共同参画を積極的に推進しています。

http://web.tuat.ac.jp/~dan-jo/danjo_new/index.html

(詳細)東京農工大学男女共同参画推進室 HP

農学研究院テニユア付与審査方法・基準の概要

1. テニユア付与審査は、テニユア付与審査委員会（以下「審査委員会」という）において行う。
2. テニユアトラック教員は、当該部門等と合議の上、着任後速やかに研究計画を審査委員会に提出する。
3. 採用後6ヶ月以内に審査委員会が、評価基準をテニユアトラック教員に通知する。
4. テニユアトラック教員のテニユア付与審査は、テニユアトラック期間中の3年目及び5年目に行う。
5. テニユア付与審査は、テニユアトラック期間中の実績、研究計画書、テニユアトラック教員による自己評価書、前歴の業績も含めた履歴および教育研究業績一覧、研究業績にかかる別刷り及び今後の抱負を含む成果発表（質疑を含む）を通じて実施する。
6. 前項の審議においては、テニユア付与審査委員会が承認した外部評価委員から書面等の方法により、当該テニユアトラック教員の本研究院・学部の審査対象職位のテニユア教員としての適格性についての評価意見を求めた上で、テニユア付与の適否を判定する。
7. 出産・育児休暇等による評価対象期間の短縮とそれに伴う評価基準の見直し及びテニユア付与審査時期の調整を行うことができる。
8. 審査結果への審査対象者本人からの一定期間内の異議申し立てを認める。